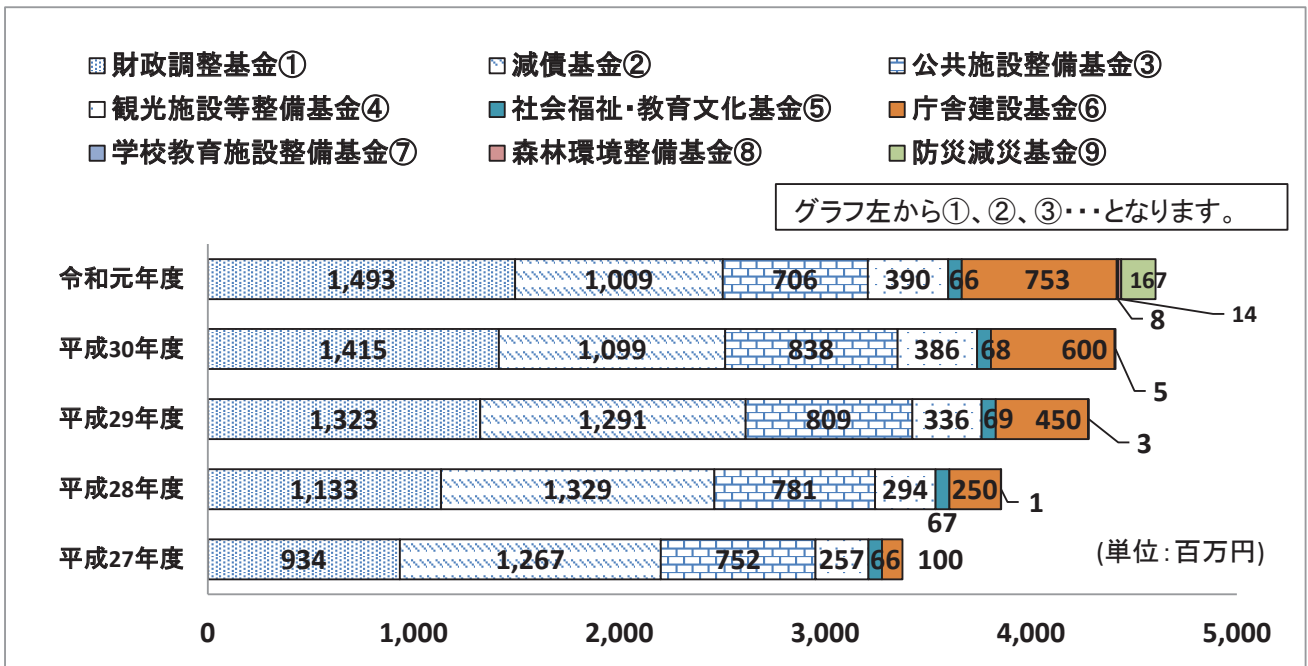


【積立基金の推移】



歳出決算額は過去最大規模となりましたが、地方交付税や都支出金による災害復旧への大きな支援もあり、歳入も大きく増となったことで、積立基金（町の貯金）の現在高は増となりました。ただ、町が自前で確保できる収入（自主財源）に比べ歳出が非常に大きい状態に変わりはありません。積立基金についても、下水道建設事業に要した起債（借金）の償還（返済）や公共施設の老朽化対策の費用に活用する必要があり、今後の国や東京都の財政状況によっては、非常に厳しい財政運営を強いられる可能性があります。

【令和元年度特別会計決算総括表】

会計名	歳入決算額	歳出決算額	収支差引額
都民の森管理運営事業特別会計	7858万3千円	7325万円	533万3千円
山のふるさと村管理運営事業特別会計	1億6475万4千円	1億6318万9千円	156万5千円
国民健康保険特別会計	7億5808万4千円	7億3992万7千円	1815万7千円
後期高齢者医療特別会計	2億2515万6千円	2億1945万3千円	570万3千円
介護保険特別会計	8億8533万6千円	8億6930万2千円	1603万4千円
下水道事業特別会計	5億8091万2千円	5億8090万9千円	3千円
合計	26億9282万5千円	26億4603万円	4679万5千円

特別会計の決算額（合計）は、前年度に比べて歳入で1.2%、歳出で1.6%の増となっています。主な増要因としては、後期高齢者医療特別会計における療養給付費負担金が増額となったことや下水道事業特別会計における公債費（起債の償還金）が増額となったことなどです。

※決算状況の問い合わせは、企画財政課 ☎83-2360